

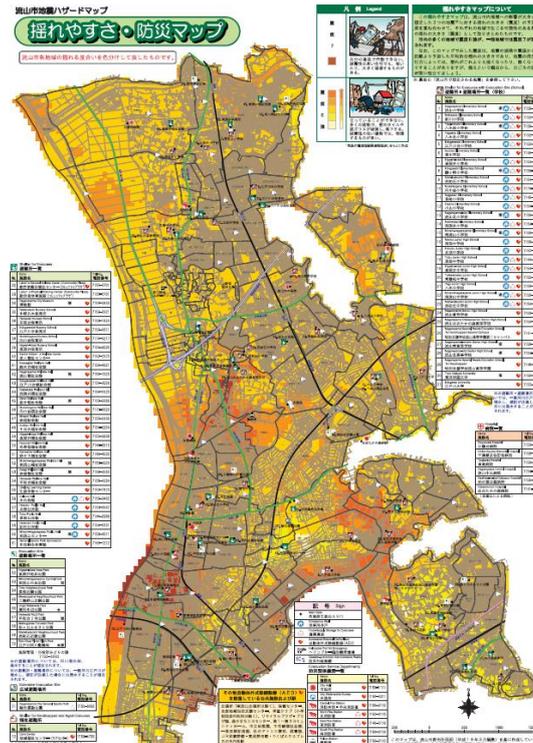
## ク 土 木

事業名	耐震診断及び木造住宅耐震改修補助事業			会計	01	一般会計	予算区分	政策
政 策	02	2節 生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）		予 算 科 目	款	08	土木費	
施 策	2-3	自然災害・都市災害への備えと予防			項	01	土木管理費	
					目	02	建築指導費	
主管課	都市計画部 建築住宅課			主管課長	中山 貢一		事業コード	01 — 51
事業目的	対象（誰を・何を）			意図（どういう状態にしたいのか）				
	旧基準建築の木造住宅及びマンションに居住の市民			住宅の耐震性の向上を図り、大地震時における市民の生命と財産の安全を確保する。				
事業内容	昭和56年以前に建築された木造住宅及び分譲マンションの耐震診断に対し、費用の一部を補助する。 昭和56年以前に建築された木造住宅の耐震改修工事に対し、費用の一部を補助する。 耐震診断に基づく耐震改修の実施により、市民の生命及び財産の安全の確保を図る。							
事業の実績	木造住宅耐震診断補助金交付申請受付件数	55	件	決算額	事業費計		17,278,500 円	
	分譲マンション耐震診断補助金交付申請受付件数	0	件		国庫支出金	8,603,000 円		
					県支出金	642,000 円		
					分担金・負担金	0 円		
					使用料・手数料	0 円		
					基金繰入金	0 円		
					地方債	0 円		
					その他特定財源	7,000,000 円		
			一般財源	1,033,500 円				
指標で表すことができない定性的な成果		繰越・継続費の状況	繰越の有無 有 継続費の設定 無 前年度からの明許繰越額13,985,000円					



木造住宅耐震改修状況

事業名	地震ハザードマップ改訂版作成事業		会計	01	一般会計	予算区分	政策	
政策	02	2節 生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	予 算 科 目	款	08	土木費		
施策	2-3	自然災害・都市災害への備えと予防		項	01	土木管理費		
				目	02	建築指導費		
主管課	都市計画部 建築住宅課		主管課長	中山 貢一		事業コード	01 — 52	
事業目的	対象（誰を・何を） 流山市民		意図（どういう状態にしたいのか） 地震による建築物の被害の軽減及び人命の保護のため、地震ハザードマップにより防災意識の高揚を図る。					
事業内容	平成24年度に流山市地域防災計画の見直しに伴い大規模地震発生時の想定地震が大きくなったことにより、平成20年度に作成した地震ハザードマップを変更後の想定地震で新たに作成した。							
事業の実績	地震ハザードマップ配布数	56,096	枚	決算 内 訳	事業費計		3,223,500 円	
					国庫支出金	2,587,000 円		
					県支出金	0 円		
					分担金・負担金	0 円		
					使用料・手数料	0 円		
					基金繰入金	0 円		
					地方債	0 円		
			その他特定財源	636,500 円				
			一般財源	0 円				
指標で表すことができない定性的な成果		繰越・継続費の状況	繰越の有無 有 前年度からの明許繰越額3,223,500円					継続費の設定 無



地震ハザードマップ改訂版

事業名	道路維持補修事業			会計	01	一般会計	予算区分	政策	
政策	01	1節	整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	予算科目	08	土木費			
施策	1-5	土地利用・生活環境に配慮した道路整備			項目	02	道路橋りょう費		
主管課	土木部 道路管理課			主管課長	川崎 一也		事業コード	01 - 51	
事業目的	対象（誰を・何を）			意図（どういう状態にしたいのか）					
	流山市が認定、供用を開始し、管理している道路			道路及び付属施設等の機能の劣化又は破損等に対応した適切な補修・改善を実施し、道路構造等を適切な状態に維持保全する。					
事業内容	舗装補修、道路側溝の補修又は改修（一部新設を含む）、その他、道路付属施設の補修（一部新設を含む）を行った。								
事業の実績	道路舗装補修延長	5,130	m	決算額	事業費計		332,084,917 円		
	情報処理件数	444	件		国庫支出金	37,983,000 円			
					県支出金	0 円			
					分担金・負担金	0 円			
					使用料・手数料	0 円			
					基金繰入金	0 円			
					地方債	0 円			
					その他特定財源	71,428,050 円			
一般財源	222,673,867 円								
指標で表すことができない定性的な成果	線越・継続費の状況			線越の有無		継続費の設定		無	
				有		前年度からの明許線越額109,411,050円（工事11件） 翌年度への明許線越額17,305,000円（工事1件）			



流山・下花輪1号補助幹線

事業名	市道前ヶ崎・向小金1号道路拡幅事業		会計	01	一般会計	予算区分	政策	
政 策	01	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	予 算 科 目	款	08	土木費		
施 策	1-5	土地利用・生活環境に配慮した道路整備		項	02	道路橋りょう費		
				目	03	道路新設改良費		
主管課	土木部 道路建設課		主管課長	遠藤 茂		事業コード	01 — 56	
事業目的	対象（誰を・何を） 市民・児童		意図（どういう状態にしたいのか） 歩道整備による安心、安全な歩行空間を確保する。					
事業内容	歩道未整備区間である向小金福祉会館前からたけの子ルーム前までの約170m区間における歩行者の安全確保を目的に幅員2.5mの歩道整備を図る。							
事業の実績	整備延長	76.8	m	決算額	事業費計		77,067,654 円	
	整備率	45.2	%		国庫支出金	42,107,450 円		
					県支出金	0 円		
						分担金・負担金	0 円	
						使用料・手数料	0 円	
						基金繰入金	0 円	
						地方債	31,000,000 円	
						その他特定財源	0 円	
				一般財源	3,960,204 円			
指標で表すことができない定性的な成果	線越・継続費の状況		線越の有無		有	継続費の設定	無	
			翌年度への明許線越額6,743,000円					



市道前ヶ崎・向小金1号道路

事業名	名都借跨線橋道路拡幅改良事業			会計	01	一般会計	予算区分	政策	
政策	01	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）		予算科目	08	土木費			
施策	1-5	土地利用・生活環境に配慮した道路整備		項目	02	道路橋りょう費			
主管課	土木部 道路建設課			主管課長	遠藤 茂		事業コード	01 — 70	
事業目的	対象（誰を・何を）			意図（どういう状態にしたいのか）					
	市民			拡幅改良により、緊急時の大型車両の通行及び歩行者の安心安全を確保する。					
事業内容	名都借跨線橋を含む約328mの区間において、緊急時大型車両の通行が可能となるよう拡幅改良を行い、歩行者、自転車通行の安全を確保し、併せて周辺地区における通行の円滑化と安全を図る。								
事業の実績	整備済延長	9.2	m	決算額	事業費計		47,271,000 円		
	整備率				国庫支出金	25,999,000 円			
					県支出金	0 円			
					分担金・負担金	0 円			
					使用料・手数料	0 円			
					基金繰入金	0 円			
					地方債	19,100,000 円			
					その他特定財源	0 円			
		一般財源	2,172,000 円						
指標で表すことができない定性的な成果	線越・継続費の状況			線越の有無		有		継続費の設定	無
				翌年度への明許線越額 9,006,000円					



名都借跨線橋

事業名	東小学校前通学路道路拡幅整備事業			会計	01	一般会計	予算区分	政策
政策	01	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）		予 算 科 目	款	08	土木費	
施策	1-5	土地利用・生活環境に配慮した道路整備		項	02	道路橋りょう費		
主管課	土木部 道路建設課			目	03	道路新設改良費		
主管課長	遠藤 茂			事業コード	01 - 72			
事業目的	対象（誰を・何を） 市民・児童			意図（どういう状態にしたいのか） 歩道整備による安心、安全な歩行空間を確保する。				
事業内容	国道6号線交差点から東部中学校入口交差点までの約525m区間について、自転車・歩行者の通行可能な歩道幅員を確保した道路整備を行い、通学路における安全対策を図る。							
事業の実績	整備済延長	3.8	m	決 算 額	事業費計		3,864,000 円	
	整備率	0.7	%		国庫支出金	0 円		
					県支出金	0 円		
					分担金・負担金	0 円		
					使用料・手数料	0 円		
					基金繰入金	0 円		
					地方債	0 円		
					その他特定財源	0 円		
			一般財源	3,864,000 円				
指標で表すことができない定性的な成果	繰越・継続費の状況			繰越の有無	無	継続費の設定	無	



市道71068号線

事業名	調整池維持管理事業		会計	01	一般会計	予算区分	政策
政策	01	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	予 算 科 目	款 項 目	08 03 01	土木費 河川費 河川総務費	
施策	1-6 安全性と快適性を兼ね備えた河川・排水路整備						
主管課	土木部 河川課		主管課長	鈴木 和男		事業コード	02 — 56
事業目的	対象（誰を・何を）		意図（どういう状態にしたいのか）				
	調整池周辺及び下流に住む市民。		調整池排水施設の適切な保守・管理を行い、治水安全度を確保する。 植栽帯や法面等の草刈を行い、良好な住環境を提供する。				
事業内容	草刈、清掃、排水施設の保守点検業務委託を実施し、良好な住環境を維持する。						
事業の実績	苦情の件数	0	件	決 算 額	事業費計		26,409,491 円
	電気料	17	円/m³		国庫支出金	0 円	
	草刈料	21	円/m³		県支出金	0 円	
					分担金・負担金	0 円	
					使用料・手数料	0 円	
					基金繰入金	0 円	
					地方債	0 円	
					その他特定財源	0 円	
			一般財源	26,409,491 円			
指標で表すことができない定性的な成果		繰越・継続費の状況	繰越の有無		無	継続費の設定	無



大堀川防災調節池を散策する市民

事業名	三輪野山地区総合治水対策事業			会計	01	一般会計	予算区分	政策
政策	01	1節	整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	予 算 科 目	款	08	土木費	
施策	1-6	安全性と快適性を兼ね備えた河川・排水路整備			項	03	河川費	
主管課	土木部 河川課			目	03	排水対策費		
主管課長	鈴木 和男			事業コード	01 — 57			
事業目的	対象（誰を・何を） 三輪野山地区の市民。			意図（どういう状態にしたいのか） 三輪野山地区の雨水排水状況を調査、検討し浸水被害を軽減する。				
事業内容	浸水対策に伴う現地踏査、既設雨水幹線の検証を行う。 浸水対策工法の検討を行う。 三輪野山地区の水路等を浚渫、清掃する。 排水ポンプを適正に運転するため、都市下水路に水位監視システムを構築する。							
事業の実績				決算額	事業費計		1,997,000 円	
					国庫支出金	0 円		
					県支出金	0 円		
					分担金・負担金	0 円		
					使用料・手数料	0 円		
					基金繰入金	0 円		
					地方債	0 円		
					その他特定財源	0 円		
			一般財源	1,997,000 円				
指標で表すことができない定性的な成果	リアルタイムでの水位監視により、早期の水防活動が行える。			繰越・継続費の状況	繰越の有無 有 継続費の設定 有 平成25年度から2か年継続事業7,884,000円 平成25年度決算額800,000円 翌年度への通次繰越額1,960,000円			

事業名	ぐりーんバス運行事業		会計	01	一般会計	予算区分	政策
政策	01	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	予 算 科 目	款	08	土木費	
施策	1-8	利便性と快適性を重視した公共交通機関の整備充実		項	04	都市計画費	
				目	02	交通計画費	
主管課	都市計画部 都市計画課		主管課長	長橋 祐之		事業コード	02 - 51
事業目的	対象（誰を・何を）		意図（どういう状態にしたいのか）				
	主に公共交通空白地域（駅徒歩圏外地区）の市民		交通不便地域の市民に対し、最寄りの鉄道駅との交通手段を確保することで、交通利便性の向上を図る。				
事業内容	ぐりーんバスの路線設定、ダイヤを編成して運行する。また、既存路線についても利用の向上が図られるよう必要な対応・工夫を行う。						
事業の実績	利用者数（年間）	681,270	人	決算額	事業費計		44,157,421 円
	一日あたり利用者数	1,871.6	人		国庫支出金	0 円	
	路線数	5	ルート		県支出金	0 円	
	停留所設置数	93	か所		分担金・負担金	0 円	
					使用料・手数料	0 円	
					基金繰入金	0 円	
					地方債	0 円	
			その他特定財源	0 円			
			一般財源	44,157,421 円			
指標で表すことができない定性的な成果	既存の路線を接続することにより市南東部と鉄道路線の交通アクセスが確保された。		繰越・継続費の状況	繰越の有無	無	継続費の設定	無



市内を運行するぐりーんバス

事業名	運河駅施設整備事業		会計	01	一般会計	予算区分	政策
政策	01	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	予 算 科 目	款	08 土木費	項	04 都市計画費
施策	1-8	利便性と快適性を重視した公共交通機関の整備充実		目	02 交通計画費		
主管課	都市計画部 都市計画課		主管課長	長橋 祐之		事業コード	03 — 51
事業目的	対象（誰を・何を） 東武野田線運河駅の利用者		意図（どういう状態にしたいのか） 駅利用者が快適に利用できるようにする。				
事業内容	運河駅東口駅前広場等の整備と併せて、運河駅の自由通路及び橋上駅舎を整備する。整備にあたっては、運河駅施設整備基金、社会資本整備総合交付金（まちづくり交付金）等を活用し実施する。						
事業の実績	便利だと感じている駅利用者の割合	69.50	%	決算額	事業費計		962,996,000 円
					国庫支出金	110,000,000 円	
					県支出金	8,353,000 円	
					分担金・負担金	0 円	
					使用料・手数料	0 円	
					基金繰入金	250,933,462 円	
					地方債	405,600,000 円	
			その他特定財源	0 円			
			一般財源	188,109,538 円			
指標で表すことができない定性的な成果		繰越・継続費の状況	繰越の有無	無	継続費の設定	有	平成23年度から3か年継続事業1,801,673,000円 平成25年度決算額962,996,000円



整備された運河駅舎

事業名	運河駅東口周辺市街地整備事業		会計	01	一般会計	予算区分	政策
政策	01	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	予 算 科 目	款	08	土木費	
施策	1-2	地域特性に合った良好な市街地整備		項	04	都市計画費	
				目	03	土地区画整理費	
主管課	都市整備部 まちづくり推進課		主管課長	石野 升吾		事業コード	01 — 51
事業目的	対象（誰を・何を） 運河駅東口周辺地区		意図（どういう状態にしたいのか） 運河駅東口の駅前広場等の整備を行い、交通アクセスの利便性の向上を図る。				
事業内容	運河駅東口開設に向け、駅舎の橋上化と合わせ、東口周辺の道路・駅前広場の整備を行う。東武野田線運河駅東口の開通に併せ、駅前広場・幹線道路や利根運河に通じる歩行者専用道路の整備を行う。						
事業の実績	事業用地取得率	91.46	%	決算額	事業費計		157,471,778 円
	整備率（事業費ベース）				国庫支出金	11,460,000 円	
					県支出金	0 円	
					分担金・負担金	0 円	
					使用料・手数料	0 円	
					基金繰入金	0 円	
					地方債	23,400,000 円	
					その他特定財源	91,846,750 円	
一般財源	30,765,028 円						
指標で表すことができない定性的な成果		線越・継続費の状況		線越の有無	有	継続費の設定	無
				前年度からの明許線越額57,989,200円 前年度からの事故線越額68,717,550円 翌年度への明許線越額30,447,381円			



整備された運河駅東口の様子

事業名	運動公園周辺地区一体型特定土地区画整理国費 対象市負担事業		会計	01	一般会計	予算区分	政策	
政 策	01	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	予 算 科 目	款	08 土木費	項	04 都市計画費	
施 策	1-2	地域特性に合った良好な市街地整備		目	04 新市街地推進費			
主管課	都市整備部 まちづくり推進課		主管課長	石野 升吾		事業コード	02 - 51	
事業 目的	対象（誰を・何を） 運動公園周辺地区土地区画整理事業		意図（どういう状態にしたいのか） 道路、公園等の公共施設及び宅地整備を進め、つくばエクス プレス沿線整備の促進を図り、良好な市街地を形成する。					
事業 内容	土地区画整理事業施行者との費用負担協定に基づき、国庫補助対象事業費の国費裏の1/2を費用負担するもの。							
事業 の 実 績			決 算 額	事業費計		204,918,800 円		
				国庫支出金	0 円			
				県支出金	0 円			
				分担金・負担金	0 円			
				使用料・手数料	0 円			
				基金繰入金	0 円			
				地方債	187,100,000 円			
		その他特定財源	8,876,685 円					
		一般財源	8,942,115 円					
指標で表す ことができない 定性的な成果	幹線道路の整備により地域間の道 路ネットワークが整備され、新た な公共交通機関の参入や周辺道路 の渋滞解消、生活道路への車両進 入抑制が図れている。		繰越・ 継続費 の状況	繰越の有無	有	継続費の設定	無	
				前年度からの明許繰越額116,276,685円 翌年度への明許繰越額 125,752,885円				



宅地造成状況(市野谷地先)

事業名	木地区一体型特定土地区画整理国費対象市負担事業		会計	01	一般会計	予算区分	政策	
	政 策	01 1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	予 算	款	08	土木費		
科			項	04	都市計画費			
目			目	04	新市街地推進費			
施 策	1-2 地域特性に合った良好な市街地整備		主管課長		石野 升吾	事業コード	02 - 53	
主管課	都市整備部 まちづくり推進課		主管課長		石野 升吾	事業コード	02 - 53	
事業目的	対象（誰を・何を）		意図（どういう状態にしたいのか）					
	木地区土地区画整理事業		道路、公園等の公共施設及び宅地整備を進め、つくばエクスプレス沿線整備の促進を図り、良好な市街地を形成する。					
事業内容	土地区画整理事業施行者との費用負担協定に基づき、国庫補助対象事業費の国費裏の1/2を費用負担するもの。							
事業の実績			決算額	事業費計		125,356,850 円		
				国庫支出金	0 円			
				県支出金	0 円			
				分担金・負担金	0 円			
				使用料・手数料	0 円			
				基金繰入金	0 円			
				地方債	114,400,000 円			
				その他特定財源	2,477,850 円			
		一般財源	8,479,000 円					
指標で表すことができない定性的な成果	幹線道路の整備により地域間の道路ネットワークが整備され、新たな公共交通機関の参入や周辺道路の渋滞解消、生活道路への車両進入抑制が図れている。		繰越・継続費の状況	繰越の有無		有	継続費の設定	無
				前年度からの明許繰越額41,377,850円 翌年度への明許繰越額70,371,000円				



都市計画道路3・4・31号木南流山線

事業名	都市計画道路3・3・28号中駒木線道路改良事業			会計	01	一般会計	予算区分	政策	
政策	01	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）		予 算 科 目	款 08	土木費			
施策	1-5	土地利用・生活環境に配慮した道路整備			項 04	都市計画費			
					目 05	街路事業費			
主管課	土木部 道路建設課			主管課長	遠藤 茂		事業コード	02 - 56	
事業目的	対象（誰を・何を）			意図（どういう状態にしたいのか）					
	市民			市民や利用者の安全及び利便の向上を図る。					
事業内容	都市計画道路を整備し、交通の円滑化と安全対策を図る。								
事業の実績	整備済延長	98.0	m	決算額	事業費計		124,829,900 円		
	整備率	67.0	%		国庫支出金	51,100,000 円			
					県支出金	0 円			
						分担金・負担金	0 円		
						使用料・手数料	0 円		
						基金繰入金	0 円		
						地方債	45,900,000 円		
						その他特定財源	0 円		
				一般財源	27,829,900 円				
指標で表すことができない定性的な成果	線越・継続費の状況			線越の有無		有	継続費の設定	無	
				翌年度への明許線越額 56,721,000円					



都市計画道路3・3・28号中駒木線

事業名	都市計画道路3・5・16号三輪野山西平井線道路改良事業			会計	01	一般会計	予算区分	政策	
政策	01	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）		予 算 科 目	款 08	土木費			
施策	1-5	土地利用・生活環境に配慮した道路整備			項 04	都市計画費			
					目 05	街路事業費			
主管課	土木部 道路建設課			主管課長	遠藤 茂		事業コード	02 - 58	
事業目的	対象（誰を・何を） 市民			意図（どういう状態にしたいのか） 市民や利用者の安全及び利便の向上を図る。					
事業内容	西平井鰯ヶ崎区画整理地区と三輪野山・平和台地区を結ぶ路線であり、地域住民の安全と利便性の向上を図るために、現道の拡幅工事を実施する。延長L=40m								
事業の実績	整備済延長	1.4	m	決 算 額	事業費計		11,228,700 円		
	整備率	3.5	%		国庫支出金	4,235,000 円			
					県支出金	0 円			
						分担金・負担金	0 円		
						使用料・手数料	0 円		
						基金繰入金	0 円		
						地方債	3,100,000 円		
						その他特定財源	0 円		
				一般財源	3,893,700 円				
指標で表すことができない定性的な成果		繰越・継続費の状況		繰越の有無	無	継続費の設定	無		



都市計画道路3・5・16号三輪野山西平井線

事業名	都市計画道路3・3・2号新川南流山線立体交差事業			会計	01	一般会計	予算区分	政策
政策	01	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）		予 算 科 目	款 08	土木費		
施策	1-5	土地利用・生活環境に配慮した道路整備		項 目	04	都市計画費		
主管課	土木部 道路建設課			主管課長	遠藤 茂		事業コード	03 — 55
事業目的	対象（誰を・何を） 市民			意図（どういう状態にしたいのか） 市民や利用者の安全及び利便の向上を図る。				
事業内容	慢性的な交通渋滞が発生している主要地方道松戸野田線のバイパス道路として、千葉県が事業主体となり用地取得及び工事を実施し、その事業促進のため、事業費の一部を市が負担金として助成を行う。延長 L=603m							
事業の実績	整備済延長	394.0	m	決算額	事業費計		52,407,606 円	
	整備率	65.3	%		国庫支出金	0 円		
					県支出金	0 円		
					分担金・負担金	0 円		
					使用料・手数料	0 円		
					基金繰入金	0 円		
					地方債	24,000,000 円		
					その他特定財源	0 円		
			一般財源	28,407,606 円				
指標で表すことができない定性的な成果		繰越・継続費の状況		繰越の有無	無	継続費の設定	無	



都市計画道路3・3・2号新川南流山線

事業名	新市街地地区公園施設新設事業			会計	01	一般会計	予算区分	政策	
政策	01	1節	整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	予算	08	土木費			
				科目	04	都市計画費			
				目	08	公園費			
施策	1-1	生態系に配慮した公園・緑地・水辺等空間の整備・管理							
主管課	都市整備部 みどりの課			主管課長	天川 一典		事業コード	02 - 62	
事業目的	対象（誰を・何を）			意図（どういう状態にしたいのか）					
	新市街地地区の公園施設			土地区画整理の整備が進行するエリアに配置された公園の整備を行い、良好な環境形成に資する。					
事業内容	新市街地地区内の公園施設(新市街地地区1号近隣公園)を整備し、身近に安らぐ空間を確保する。								
事業の実績	公園用地取得済面積	946	m <sup>2</sup>	決算額	事業費計		75,977,000 円		
					国庫支出金	37,925,000 円			
					県支出金	0 円			
					分担金・負担金	0 円			
					使用料・手数料	0 円			
					基金繰入金	0 円			
					地方債	34,100,000 円			
					その他特定財源	0 円			
			一般財源	3,952,000 円					
指標で表すことができない定性的な成果	繰越・継続費の状況			繰越の有無		有		継続費の設定	無
				翌年度への明許繰越額117,700,000円					

事業名	西平井・鱒ヶ崎地区公園施設新設事業			会計	01	一般会計	予算区分	政策
政策	01	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）		予算科目	款	08	土木費	
施策	1-1	生態系に配慮した公園・緑地・水辺等空間の整備・管理		項目	04	都市計画費		
主管課	都市整備部 みどりの課			主管課長	天川 一典		事業コード	02 - 74
事業目的	対象（誰を・何を）			意図（どういう状態にしたいのか）				
	西平井・鱒ヶ崎地区の公園施設			土地区画整理が進行するエリアに配置された公園の整備を行い、良好な環境形成に資する。				
事業内容	西平井・鱒ヶ崎地区内の公園・緑地を整備し、身近に憩い安らぐ空間を確保する。							
事業の実績	公園緑地用地取得面積	11,076.38	m <sup>2</sup>	決算額	事業費計		520,461,449 円	
	西平井緑道整備	38.7	m		国庫支出金	164,570,000 円		
					県支出金	0 円		
					分担金・負担金	0 円		
					使用料・手数料	0 円		
					基金繰入金	0 円		
					地方債	321,700,000 円		
					その他特定財源	6,274,725 円		
			一般財源	27,916,724 円				
指標で表すことができない定性的な成果	緑越・継続費の状況			緑越の有無	有	継続費の設定	無	
				前年度からの明許緑越額387,274,725円 翌年度への明許緑越額14,856,000円				



西平井・鱒ヶ崎地区緑道整備事業

事業名	遊具施設等安全対策事業		会計	01	一般会計	予算区分	政策
政策	01	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	予 算 科 目	款	08	土木費	
施策	1-1	生態系に配慮した公園・緑地・水辺等空間の整備・管理		項	04	都市計画費	
				目	08	公園費	
主管課	都市整備部 みどりの課		主管課長	天川 一典		事業コード	05 - 51
事業目的	対象（誰を・何を） 公園遊具施設		意図（どういう状態にしたいのか） 市民が憩い安らげる場を提供するため、適切な公園施設の整備・管理を行う。				
事業内容	既存の公園遊具施設等の補修改良等の安全対策工事を行う。 身近に憩い安らぐ空間（公園・緑地）を確保する。						
事業の実績	対象遊具施設等	24	基	決算額	事業費計		71,543,325 円
					国庫支出金	0 円	
					県支出金	0 円	
					分担金・負担金	0 円	
					使用料・手数料	0 円	
					基金繰入金	0 円	
					地方債	0 円	
					その他特定財源	0 円	
			一般財源	71,543,325 円			
指標で表すことができない定性的な成果	坂川用水路跡地の植栽（高木64本、低木3,000株） 公園広場の再整備（28か所）		繰越・継続費の状況	繰越の有無	無	継続費の設定	無



遊具施設等安全対策事業(前ヶ崎2号公園)

事業名	公園等放射能対策事業			会計	01	一般会計	予算区分	政策
政策	01	1節	整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	予算	08	土木費		
				科目	04	都市計画費		
				目	08	公園費		
施策	1-1	生態系に配慮した公園・緑地・水辺等空間の整備・管理						
主管課	都市整備部 みどりの課			主管課長	天川 一典		事業コード	05 — 52
事業目的	対象（誰を・何を）			意図（どういう状態にしたいのか）				
	公園緑地			放射線量の低減を図り、市民が安心して利用できる空間を確保する。				
事業内容	市内の公園等に関して、放射線量の高い広場部分等の低減策を実施する。なお、放射線量のモニタリングは、環境部門で実施、線量測定機器の保守点検を行った。							
事業の実績	除染対応箇所数	0	箇所	決算額	事業費計			47,250 円
	モニタリング調査異常箇所	0	箇所		国庫支出金			47,250 円
					県支出金			0 円
					分担金・負担金			0 円
					使用料・手数料			0 円
					基金繰入金			0 円
					地方債			0 円
					その他特定財源			0 円
			一般財源			0 円		
指標で表すことができない定性的な成果			繰越・継続費の状況	繰越の有無	無	継続費の設定	無	

事業名	市民総合体育館建替事業		会計	01	一般会計	予算区分	政策
政策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）	予 算 科 目	款	08	土木費	
施策	3-5	スポーツ活動の基盤づくり		項	04	都市計画費	
				目	08	公園費	
主管課	都市整備部 みどりの課		主管課長	天川 一典		事業コード	06 — 51
事業目的	対象（誰を・何を） （仮称）流山市民総合体育館		意図（どういう状態にしたいのか） 体育館を建設し、市民のスポーツ需要の利便性向上に資する。 また、災害時に最大の避難所として安全性を確保する。				
事業内容	現在の流山市民総合体育館は建築後37年が経過し、耐震性の不足や施設の老朽化が問題となっている。健康都市宣言をしたまちにふさわしい快適で質の高いスポーツ施設を市民に提供し、スポーツ人口の増加、市民の健康増進に寄与する。あわせて万一の災害時に備えて安全な避難所を確保する。						
事業の実績	事業推抄率	7 %	決算額	事業費計		285,304,450 円	
				国庫支出金	100,000,000 円		
				県支出金	0 円		
				分担金・負担金	0 円		
				使用料・手数料	0 円		
				基金繰入金	0 円		
				地方債	150,000,000 円		
		その他特定財源	0 円				
			一般財源	35,304,450 円			
指標で表すことができない定性的な成果	事業の執行を当面見合わせるとしたが、議会に設置された市民総合体育館建設に関する特別委員会で、議論を深め合意形成を図ることができた。		繰越・継続費の状況	繰越の有無	有	継続費の設定	有
				平成24年度から4か年継続事業5,071,270,000円 平成25年度決算額254,830,000円 前年度からの通次繰越額250,000,000円 翌年度への通次繰越額830,430,000円			



工事全景(平成26年3月)

事業名	市営住宅整備事業		会計	01	一般会計	予算区分	政策
政策	04	4節 誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	予 算 科 目	款 08	土木費	項 05	住宅費
施策	4-3	誰もが安心して暮らすことのできる生活支援づくり		目 01	住宅管理費		
主管課	都市計画部 建築住宅課		主管課長	中山 貢一		事業コード	01 — 51
事業目的	対象（誰を・何を） 市営住宅及び居住者		意図（どういう状態にしたいのか） 市営住宅の長寿命化を図るとともに適正な住環境のもとで安心して生活できるようにする。				
事業内容	市営住宅の適正な維持管理のため、改修工事を実施する。						
事業の実績	工事件数	3	件	決算額	事業費計		34,793,273 円
					国庫支出金	10,284,000 円	
					県支出金	0 円	
					分担金・負担金	0 円	
					使用料・手数料	円	
					基金繰入金	0 円	
					地方債	0 円	
					その他特定財源	0 円	
			一般財源	24,509,273 円			
指標で表すことができない定性的な成果		繰越・継続費の状況	繰越の有無	無	継続費の設定	無	



若宮団地B棟外壁改修状況